



2020年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年5月27日

上場会社名	株式会社フジックス	上場取引所	東
コード番号	3600	URL	https://www.fjx.co.jp
代表者	(役職名)代表取締役社長	(氏名)藤井 一郎	
問合せ先責任者	(役職名)専務取締役	(氏名)山本 和良	(TEL) 075(744)0071
定時株主総会開催予定日	2020年6月26日	配当支払開始予定日	2020年6月29日
有価証券報告書提出予定日	2020年6月26日		
決算補足説明資料作成の有無	: 無		
決算説明会開催の有無	: 無		

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期の連結業績(2019年4月1日～2020年3月31日)

(1) 連結経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期	6,050	△5.5	42	—	121	296.2	△25	—
2019年3月期	6,401	0.8	△42	—	30	△11.5	△216	—
(注) 包括利益	2020年3月期		△237百万円 (—%)		2019年3月期		△477百万円 (—%)	

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率	
	円 銭	円 銭	%	%	%	
2020年3月期	△18.39	—	△0.3	1.1	0.7	
2019年3月期	△157.25	—	△2.4	0.3	△0.7	
(参考) 持分法投資損益	2020年3月期		—百万円	2019年3月期		—百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産		
	百万円	百万円	%	円 銭		
2020年3月期	10,560	9,037	79.0	6,058.38		
2019年3月期	11,118	9,372	78.0	6,297.15		
(参考) 自己資本	2020年3月期		8,340百万円	2019年3月期		8,669百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2020年3月期	231	△32	△96	1,785
2019年3月期	△110	△663	△99	1,698

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2019年3月期	—	0.00	—	62.50	62.50	86	△39.8	1.0
2020年3月期	—	0.00	—	62.50	62.50	86	△339.9	1.0
2021年3月期(予想)	—	—	—	—	—		—	

(注) 2021年3月期の配当予想は未定であります。

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

2021年3月期の連結業績予想につきましては、現時点において新型コロナウイルス感染症が当社グループに与える影響が不透明であり、合理的な予想数値の算定を行うことが困難であるため未定としております。今後、業績予想の開示が可能となった段階で、速やかに公表いたします。

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
 新規 一社（社名）—、除外 一社（社名）—

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
 ② ①以外の会計方針の変更： 無
 ③ 会計上の見積りの変更： 無
 ④ 修正再表示： 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期	1,468,093株	2019年3月期	1,468,093株
② 期末自己株式数	2020年3月期	91,385株	2019年3月期	91,325株
③ 期中平均株式数	2020年3月期	1,376,717株	2019年3月期	1,376,799株

(参考) 個別業績の概要

1. 2020年3月期の個別業績（2019年4月1日～2020年3月31日）

(1) 個別経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期	3,183	△8.6	△70	—	8	—	△74	—
2019年3月期	3,484	△0.8	△100	—	△9	—	△181	—

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期	△54.26	—
2019年3月期	△131.56	—

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	円 銭	%	円 銭	
2020年3月期	8,360	89.6	7,493	87.7	5,442.81			
2019年3月期	8,887		7,792		5,660.16			

(参考) 自己資本 2020年3月期 7,493百万円 2019年3月期 7,792百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

2021年3月期の連結業績予想につきましては、現時点において新型コロナウイルス感染症が当社グループに与える影響が不透明であり、合理的な予想数値の算定を行うことが困難であるため未定としております。今後、業績予想の開示が可能となった段階で、速やかに公表いたします。なお、業績予想に関する事項は、添付資料P.4「1.経営成績等の概況(4)今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	P. 2
(1) 当期の経営成績の概況	P. 2
(2) 当期の財政状態の概況	P. 3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	P. 3
(4) 今後の見通し	P. 4
2. 企業集団の状況	P. 4
3. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	P. 4
4. 連結財務諸表及び主な注記	P. 5
(1) 連結貸借対照表	P. 5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	P. 7
(3) 連結株主資本等変動計算書	P. 10
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	P. 12
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	P. 13
(継続企業の前提に関する注記)	P. 13
(セグメント情報等)	P. 13
(1株当たり情報)	P. 14
(重要な後発事象)	P. 14
5. その他	P. 15

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、米中の貿易摩擦や日韓関係の悪化を始め、様々な国際情勢の不透明感を抱えながらも引き続き緩やかな回復基調で推移してきましたが、新型コロナウイルス感染症の世界的な拡大により、期末に向けて急速に先行きの懸念や不透明感が高まることとなりました。

当社グループが関連するアパレル・ファッション業界や手芸関連業界におきましては、昨年発生した自然災害に加え、とりわけ昨秋以降は、消費税率改定や暖冬傾向が消費マインドを委縮させ、衣料品や手芸関連品の消費は低調となり、服飾材料である縫い糸の商況も一層厳しさが増しました。

当社グループでは、昨春以降の販売価格の改正により、販売単価は上昇したものの、上述の影響を受けての販売数量の落ち込みや為替換算レート変動の影響もあって、当連結会計年度の売上高は6,050百万円（前期比5.5%減）にとどまりました。

一方利益面につきましては、売上高減少に伴う減益要因はあるものの、販売価格改正による利益率の改善や人件費の減少、前期に発生した本社社屋の建替え等に伴う一過性の費用を含む経費の減少もあって、営業利益は42百万円（前期は42百万円の損失）、経常利益は121百万円（前期比296.2%増）となりました。

また、前期は、本社社屋の建替えの意思決定に伴う減損損失および事業所改築関連費用を含め、合わせて217百万円の特別損失を計上しましたが、当期は、東京支店の減損損失等を含め、合わせて94百万円の特別損失を計上したことから、親会社株主に帰属する当期純損失は25百万円（前期は216百万円の損失）となりました。

当連結会計年度におけるセグメントごとの経営成績は、次のとおりです。

日本

当社グループにおきましては、事業年度の末日を、当社は3月末日、国内子会社は1月末日と定めているため、当期における新型コロナウイルス感染症拡大の影響は些少ですが、当社グループが関連するアパレル・ファッション業界や手芸関連分野では、昨年発生した自然災害に加え、とりわけ昨秋以降は、消費税率改定や暖冬傾向が消費マインドを委縮させ、衣料品や手芸関連品の消費は低調となり、服飾材料である縫い糸の商況も一層厳しさが増しました。

当セグメントにおきましては、昨春以降の販売価格の改正により、販売単価は上昇したものの、上述の影響を受けての販売数量の落ち込みから、当セグメントの売上高は4,774百万円（前期比5.0%減）となりました。

一方利益面につきましては、売上高減少に伴う減益要因はあるものの、販売価格改正による利益率の改善や人件費の減少、前期に発生した本社社屋の建替え等に伴う一過性の費用を含む経費の減少もあって、セグメント損失は39百万円（前期は100百万円の損失）に改善しました。

アジア

当社グループに属する全ての海外子会社は、事業年度の末日を12月末日と定めており、当連結会計年度には海外子会社の2019年1月から12月までの業績が連結されているため、当期には新型コロナウイルス感染症拡大の影響はほとんどありません。

また、決算期のずれがあることから、日本セグメントの状況とも若干異なりますが、当期間の日本向け衣料品のアジア地域における生産は、日本国内の慎重な消費を背景に、全般には抑制傾向が続き、服飾材料である縫い糸の受注も伸び悩み、とりわけ中国におきましては貿易摩擦問題や国内経済の減速により、縫製業および当社子会社の事業環境は厳しさが増しました。

このような状況のなか、海外子会社におきましても、当期には日本同様、様々なコストアップを吸収すべく販売価格の改正を実施しましたが、上述の事業環境下、販売競争の激化などに加えて、為替換算レート変動の影響も加わって、当セグメントの売上高は1,276百万円（前期比7.4%減）となりました。

一方利益面につきましては、日本セグメント同様、売上高減少に伴う減益要因はあるものの、販売価格改正による利益率の改善や販管費の減少等により、セグメント利益は88百万円（前期比59.4%増）となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて653百万円減少し、6,697百万円となりました。これは、主として商品及び製品が184百万円増加したものの、現金及び預金が553百万円、受取手形及び売掛金が340百万円減少したことなどによります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて95百万円増加し、3,862百万円となりました。これは、主として投資有価証券が198百万円減少したものの、有形固定資産が283百万円増加したことなどによります。

これらの結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて557百万円減少し、10,560百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて195百万円減少し、699百万円となりました。これは、主として事業所改築関連費用引当金がなくなったことや、買掛金が43百万円減少したことなどによります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて28百万円減少し、823百万円となりました。これは、主として退職給付に係る負債が32百万円増加したものの、繰延税金負債が66百万円減少したことなどによります。

これらの結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて223百万円減少し、1,522百万円となりました。

(純資産)

純資産は、前連結会計年度末に比べて334百万円減少し、9,037百万円となりました。これは、主として利益剰余金が113百万円、その他有価証券評価差額金が138百万円、為替換算調整勘定が62百万円減少したことなどによります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物は1,785百万円となり、前連結会計年度末より87百万円増加いたしました。活動別キャッシュ・フローの状況は、次のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度における営業活動によるキャッシュ・フローは、たな卸資産の増加241百万円（前期は81百万円の増加）があったものの、減価償却費をはじめとする非資金項目が249百万円（前期は387百万円）、売上債権の減少274百万円（前期は121百万円の増加）となったことなどにより、231百万円の流入（前期は110百万円の流出）となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度における投資活動によるキャッシュ・フローは、定期預金の払戻による収入1,338百万円（前期は1,018百万円）があったものの、定期預金の預入による支出765百万円（前期は1,287百万円）、有形固定資産の取得による支出615百万円（前期は570百万円）となったことなどにより、32百万円の流出（前期は663百万円の流出）となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度における財務活動によるキャッシュ・フローは、配当金の支払額85百万円（前期は85百万円）となったことなどにより、96百万円の流出（前期は99百万円の流出）となりました。

(4) 今後の見通し

新型コロナウイルス感染症の世界的な拡大という未曾有の事態は、世界経済に甚大な影響を及ぼし、わが国の景気指標や景況感も一気に下落し、今後のさらなる経済への打撃や長期にわたる後遺症も見通せない状況となっております。

とりわけ当社グループが深く関わる国内のアパレル・ファッション業界におきましては、今回の事態により、売り場の休業や消費マインドの委縮により、衣料品消費の落ち込みは顕著で、休業などの解除後も先行きが全く見通せない状況となっております。

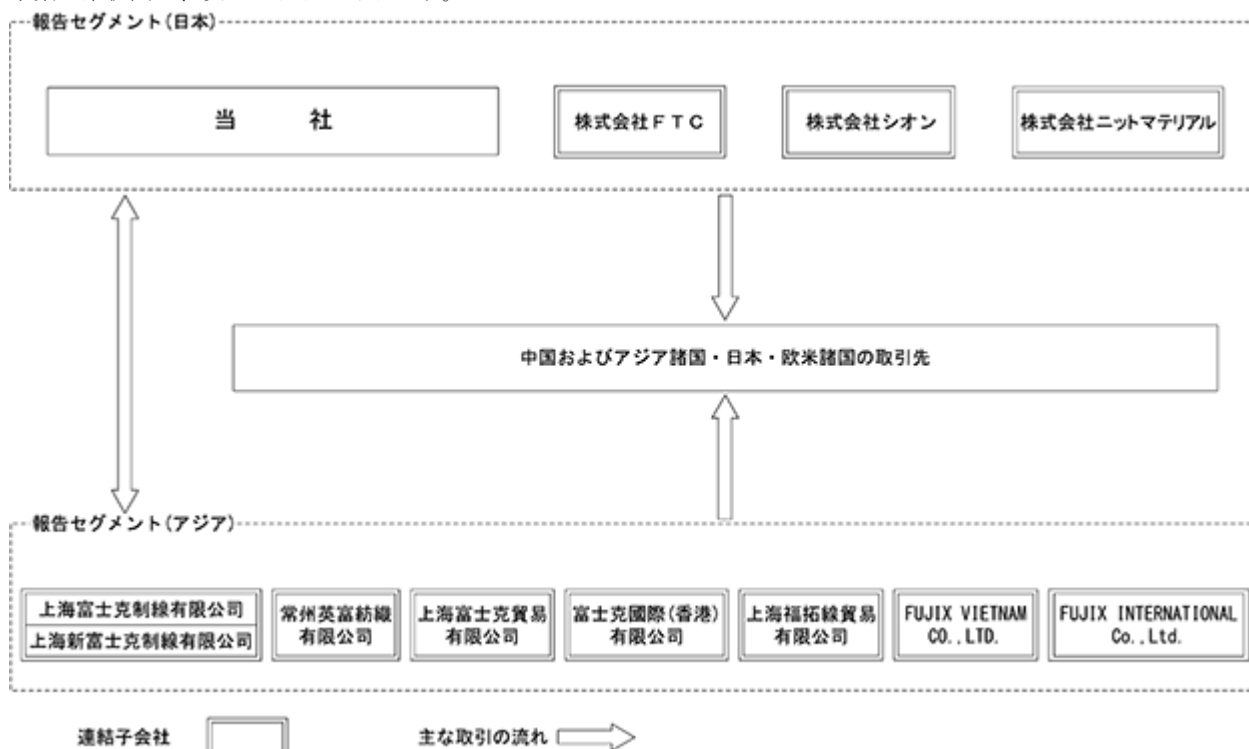
当社グループにおきましては、使い捨てマスクの品薄と価格高騰を背景とした手作りマスク材料の需要急増により、家庭用縫い糸の受注が一時的に増加しておりますが、衣料品に対する消費マインドの回復には相当な時間がかかると思われ、衣料品の生産につきましては、今後長期にわたり減産傾向が続くことが推察され、当社グループの主力である工業用縫い糸につきましては、昨秋以降すでに縫い糸の需要が低調に推移している状況にさらに拍車がかかることが懸念されます。

当社グループといたしましては、今回の事態の収束が見通せないなか、現段階では今後の状況の予測は極めて困難であることから、次期の連結業績予想につきましては開示が可能となった段階で、速やかに公表いたします。

2. 企業集団の状況

当社グループは、当社及び連結子会社11社（株式会社FTC、株式会社シオン、株式会社ニットマテリアル、上海富士克制線有限公司、上海富士克貿易有限公司、上海新富士克制線有限公司、富士克国際（香港）有限公司、上海福拓線貿易有限公司、常州英富紡織有限公司、FUJIX VIETNAM CO.,Ltd.、FUJIX INTERNATIONAL Co.,Ltd.）の計12社により構成されており、縫い糸、刺しゅう糸及び手芸用各種糸の製造販売を主な事業とし、日本、中国を主とするアジア諸国及び欧米諸国の市場に向けてグローバルな事業活動を行っております。

事業の系統図は、次のとおりであります。



3. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は日本基準で連結財務諸表を作成いたします。なお、今後の国際会計基準の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮しながら検討を進めていく方針であります。

4. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当連結会計年度 (2020年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,939,405	2,385,605
受取手形及び売掛金	1,518,322	1,177,668
電子記録債権	143,489	195,831
商品及び製品	1,290,511	1,474,750
仕掛品	949,979	925,388
原材料及び貯蔵品	405,678	472,423
その他	115,414	78,049
貸倒引当金	△11,843	△12,037
流動資産合計	7,350,957	6,697,680
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	3,360,102	3,116,716
減価償却累計額	△1,814,281	△1,683,830
建物及び構築物(純額)	1,545,821	1,432,886
機械装置及び運搬具	1,965,478	2,003,817
減価償却累計額	△1,613,598	△1,651,008
機械装置及び運搬具(純額)	351,879	352,808
土地	365,991	360,414
リース資産	31,253	31,253
減価償却累計額	△21,204	△24,945
リース資産(純額)	10,049	6,307
建設仮勘定	68,252	474,502
その他	248,015	223,777
減価償却累計額	△214,371	△191,674
その他(純額)	33,644	32,102
有形固定資産合計	2,375,639	2,659,022
無形固定資産		
その他	248,003	207,163
無形固定資産合計	248,003	207,163
投資その他の資産		
投資有価証券	866,781	667,885
長期貸付金	1,308	—
長期前払費用	8,067	8,354
繰延税金資産	2,353	5,385
その他	277,117	326,454
貸倒引当金	△11,931	△11,515
投資その他の資産合計	1,143,697	996,563
固定資産合計	3,767,339	3,862,749
資産合計	11,118,296	10,560,430

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当連結会計年度 (2020年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	460,677	417,400
リース債務	4,321	4,656
未払金	131,249	100,797
未払法人税等	14,504	24,397
賞与引当金	58,621	57,214
事業所改築関連費用引当金	105,730	—
資産除去債務	13,000	5,169
その他	106,366	89,488
流動負債合計	894,470	699,124
固定負債		
リース債務	6,702	2,045
繰延税金負債	486,790	420,373
役員退職慰労引当金	203,502	221,662
退職給付に係る負債	105,521	137,742
資産除去債務	39,492	34,322
その他	9,630	7,186
固定負債合計	851,638	823,333
負債合計	1,746,109	1,522,458
純資産の部		
株主資本		
資本金	923,325	923,325
資本剰余金	758,014	758,014
利益剰余金	6,640,052	6,526,873
自己株式	△109,136	△109,249
株主資本合計	8,212,254	8,098,963
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	254,774	116,073
為替換算調整勘定	300,829	238,483
退職給付に係る調整累計額	△98,136	△112,893
その他の包括利益累計額合計	457,466	241,663
非支配株主持分	702,465	697,345
純資産合計	9,372,187	9,037,972
負債純資産合計	11,118,296	10,560,430

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
売上高	6,401,499	6,050,454
売上原価	4,711,727	4,321,071
売上総利益	1,689,771	1,729,382
販売費及び一般管理費		
運賃及び荷造費	122,050	111,443
広告宣伝費	9,202	7,886
販売促進費	57,874	50,029
貸倒引当金繰入額	2,562	771
役員報酬	83,898	87,432
給料及び手当	606,408	592,335
従業員賞与	90,762	84,901
賞与引当金繰入額	40,036	38,801
退職給付費用	36,670	43,864
役員退職慰労引当金繰入額	23,205	23,280
法定福利費	103,236	102,572
賃借料	80,841	72,226
支払手数料	75,538	73,091
旅費及び交通費	60,240	53,771
減価償却費	66,654	72,964
研究開発費	59,467	61,127
その他	213,821	209,894
販売費及び一般管理費合計	1,732,471	1,686,393
営業利益又は営業損失(△)	△42,699	42,988
営業外収益		
受取利息	7,495	11,684
受取配当金	25,678	27,604
賃貸料収入	18,386	23,183
売電収入	9,784	9,331
その他	43,004	30,343
営業外収益合計	104,348	102,148
営業外費用		
支払利息	1,495	428
租税公課	2,509	5,317
賃貸料収入原価	15,983	9,374
売電費用	6,465	6,699
その他	4,521	1,769
営業外費用合計	30,974	23,589
経常利益	30,674	121,546

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
特別利益		
固定資産売却益	1,613	1,694
投資有価証券売却益	9,936	—
特別利益合計	11,550	1,694
特別損失		
固定資産売却損	4,481	662
減損損失	75,753	89,279
事業所改築関連費用	123,029	854
その他	14,394	3,536
特別損失合計	217,659	94,332
税金等調整前当期純利益又は 税金等調整前当期純損失 (△)	△175,434	28,907
法人税、住民税及び事業税	39,660	39,591
法人税等調整額	△13,154	△8,409
法人税等合計	26,506	31,181
当期純損失 (△)	△201,941	△2,273
非支配株主に帰属する当期純利益	14,555	23,044
親会社株主に帰属する当期純損失 (△)	△216,496	△25,317

連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
当期純損失(△)	△201,941	△2,273
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△88,598	△138,701
為替換算調整勘定	△181,332	△81,652
退職給付に係る調整額	△5,922	△14,756
その他の包括利益合計	△275,853	△235,109
包括利益	△477,794	△237,383
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	△451,390	△241,120
非支配株主に係る包括利益	△26,403	3,737

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	923,325	758,014	6,944,880	△108,914	8,517,306
当期変動額					
剰余金の配当			△86,054		△86,054
従業員奨励及び福利基金繰入額			△2,277		△2,277
親会社株主に帰属する当期純損失(△)			△216,496		△216,496
自己株式の取得				△222	△222
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	△304,828	△222	△305,051
当期末残高	923,325	758,014	6,640,052	△109,136	8,212,254

	その他の包括利益累計額				非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括利益 累計額合計		
当期首残高	343,372	441,202	△92,214	692,360	739,541	9,949,208
当期変動額						
剰余金の配当						△86,054
従業員奨励及び福利基金繰入額						△2,277
親会社株主に帰属する当期純損失(△)						△216,496
自己株式の取得						△222
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△88,598	△140,373	△5,922	△234,894	△37,075	△271,969
当期変動額合計	△88,598	△140,373	△5,922	△234,894	△37,075	△577,021
当期末残高	254,774	300,829	△98,136	457,466	702,465	9,372,187

当連結会計年度末(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	923,325	758,014	6,640,052	△109,136	8,212,254
当期変動額					
剰余金の配当			△86,048		△86,048
従業員奨励及び福利基金繰入額			△1,813		△1,813
親会社株主に帰属する当期純損失(△)			△25,317		△25,317
自己株式の取得				△112	△112
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	△113,178	△112	△113,291
当期末残高	923,325	758,014	6,526,873	△109,249	8,098,963

	その他の包括利益累計額				非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	254,774	300,829	△98,136	457,466	702,465	9,372,187
当期変動額						
剰余金の配当						△86,048
従業員奨励及び福利基金繰入額						△1,813
親会社株主に帰属する当期純損失(△)						△25,317
自己株式の取得						△112
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△138,701	△62,345	△14,756	△215,803	△5,120	△220,923
当期変動額合計	△138,701	△62,345	△14,756	△215,803	△5,120	△334,215
当期末残高	116,073	238,483	△112,893	241,663	697,345	9,037,972

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益又は税金等調整前当期純損失(△)	△175,434	28,907
減価償却費	237,379	234,089
固定資産売却損益(△は益)	2,868	△1,031
固定資産除却損	5,964	166
減損損失	75,753	89,279
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△1,045	83
賞与引当金の増減額(△は減少)	△304	△1,407
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△21,874	18,160
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	90	17,464
事業所改築関連費用引当金の増減額(△は減少)	105,730	△105,730
生産拠点再編関連費用引当金の増減額(△は減少)	△3,032	—
受取利息及び受取配当金	△33,173	△39,289
支払利息	1,495	428
売上債権の増減額(△は増加)	△121,403	274,975
たな卸資産の増減額(△は増加)	△81,675	△241,646
仕入債務の増減額(△は減少)	△26,509	△39,078
その他	△13,685	△22,527
小計	△48,857	212,843
利息及び配当金の受取額	34,855	37,146
利息の支払額	△1,495	△428
法人税等の支払額	△94,706	△17,782
営業活動によるキャッシュ・フロー	△110,204	231,779
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△1,287,387	△765,392
定期預金の払戻による収入	1,018,239	1,338,488
有形固定資産の取得による支出	△570,995	△615,669
有形固定資産の売却による収入	5,192	2,287
無形固定資産の取得による支出	△5,707	△440
投資有価証券の売却及び償還による収入	212,729	—
貸付けによる支出	△17,100	—
貸付金の回収による収入	315	1,308
資産除去債務の履行による支出	—	△13,000
その他	△18,561	19,443
投資活動によるキャッシュ・フロー	△663,274	△32,974
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	△222	△112
配当金の支払額	△85,974	△85,782
非支配株主への配当金の支払額	△5,684	△6,612
リース債務の返済による支出	△7,805	△4,321
財務活動によるキャッシュ・フロー	△99,686	△96,828
現金及び現金同等物に係る換算差額	△33,116	△14,958
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△906,281	87,018
現金及び現金同等物の期首残高	2,604,311	1,698,029
現金及び現金同等物の期末残高	1,698,029	1,785,048

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

1 報告セグメントの概要

報告セグメントの決定方法

当社グループの報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、当社の取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象としているものであります。

当社グループは、縫い糸、刺しゅう糸及び手芸用各種糸を生産・販売しており、「日本」においては、当社及び国内連結子会社3社が、「アジア」においては、海外連結子会社8社がそれぞれ担当しております。また、これらの海外連結子会社は、それぞれが相互に連携して、「アジア」の包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

したがって、当社グループは、生産・販売体制を基礎とした地域別のセグメントから構成されており、「日本」及び「アジア」の2つを報告セグメントとしております。

2 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表の作成において採用している方法と概ね同一であります。なお、報告セグメントの利益又は損失は、営業利益又は営業損失ベースの数値であります。

3 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	連結財務諸表 計上額 (注) 2
	日本	アジア	計		
売上高					
外部顧客に対する売上高	5,023,666	1,377,832	6,401,499	—	6,401,499
セグメント間の内部売上高又は振替高	323,620	706,181	1,029,802	△1,029,802	—
計	5,347,286	2,084,014	7,431,301	△1,029,802	6,401,499
セグメント利益又は損失(△)	△100,142	55,651	△44,490	1,791	△42,699
セグメント資産	9,180,336	3,369,358	12,549,695	△1,431,398	11,118,296
その他の項目					
減価償却費	138,671	98,707	237,379	—	237,379
減損損失	75,753	—	75,753	—	75,753
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	497,607	77,905	575,513	—	575,513

(注) 1 調整額は、以下のとおりであります。

(1) セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去によるものです。

(2) セグメント資産の調整額は、主にセグメント間消去によるものです。

2 セグメント利益又は損失(△)は、連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

3 当社グループにおいては、負債に関する情報が最高経営意思決定機関に定期的に提供されず、また使用されていないため、報告セグメントごとの負債の金額の記載を省略しております。

当連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	連結財務諸表 計上額 (注) 2
	日本	アジア	計		
売上高					
外部顧客に対する売上高	4,774,113	1,276,340	6,050,454	—	6,050,454
セグメント間の内部売上高又は振替高	287,863	596,540	884,404	△884,404	—
計	5,061,977	1,872,881	6,934,858	△884,404	6,050,454
セグメント利益又は損失(△)	△39,167	88,710	49,542	△6,554	42,988
セグメント資産	8,671,765	3,251,610	11,923,375	△1,362,945	10,560,430
その他の項目					
減価償却費	145,895	88,193	234,089	—	234,089
減損損失	89,279	—	89,279	—	89,279
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	602,469	6,350	608,820	—	608,820

(注) 1 調整額は、以下のとおりであります。

- (1) セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去によるものです。
- (2) セグメント資産の調整額は、主にセグメント間消去によるものです。
- 2 セグメント利益又は損失(△)は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。
- 3 当社グループにおいては、負債に関する情報が最高経営意思決定機関に定期的に提供されず、また使用されていないため、報告セグメントごとの負債の金額の記載を省略しております。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
1株当たり純資産額	6,297円15銭	6,058円38銭
1株当たり当期純損失(△)	△157円25銭	△18円39銭

(注) 1 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 1株当たり当期純損失の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
親会社株主に帰属する当期純損失(△)(千円)	△216,496	△25,317
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純損失(△)(千円)	△216,496	△25,317
普通株式の期中平均株式数(千株)	1,376	1,376

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

5. その他

役員の異動

役員の異動につきましては、本日発表の「役員人事に関するお知らせ」をご覧ください。